

茨城港長期構想（案）

概要版

日立港区



常陸那珂港区



大洗港区



令和7年2月25日
茨城県土木部港湾課

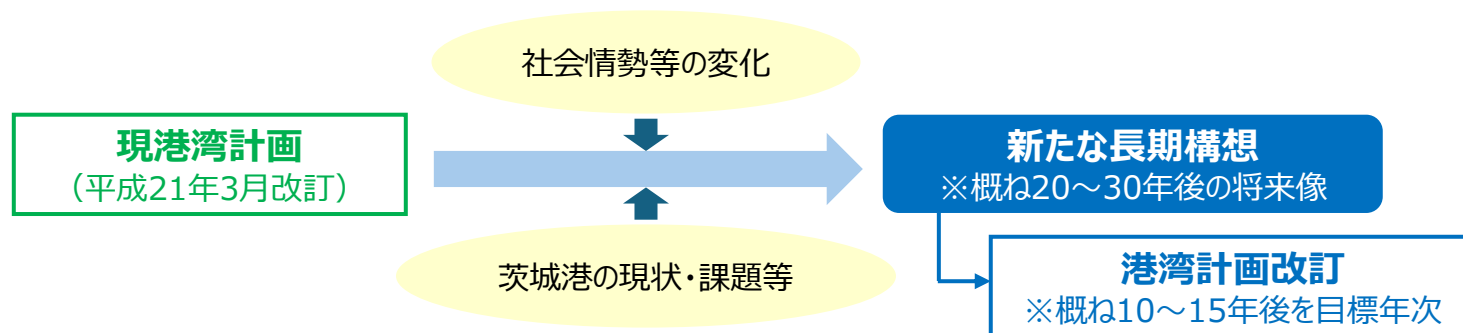
1. 長期構想検討委員会の背景と目的

○背景

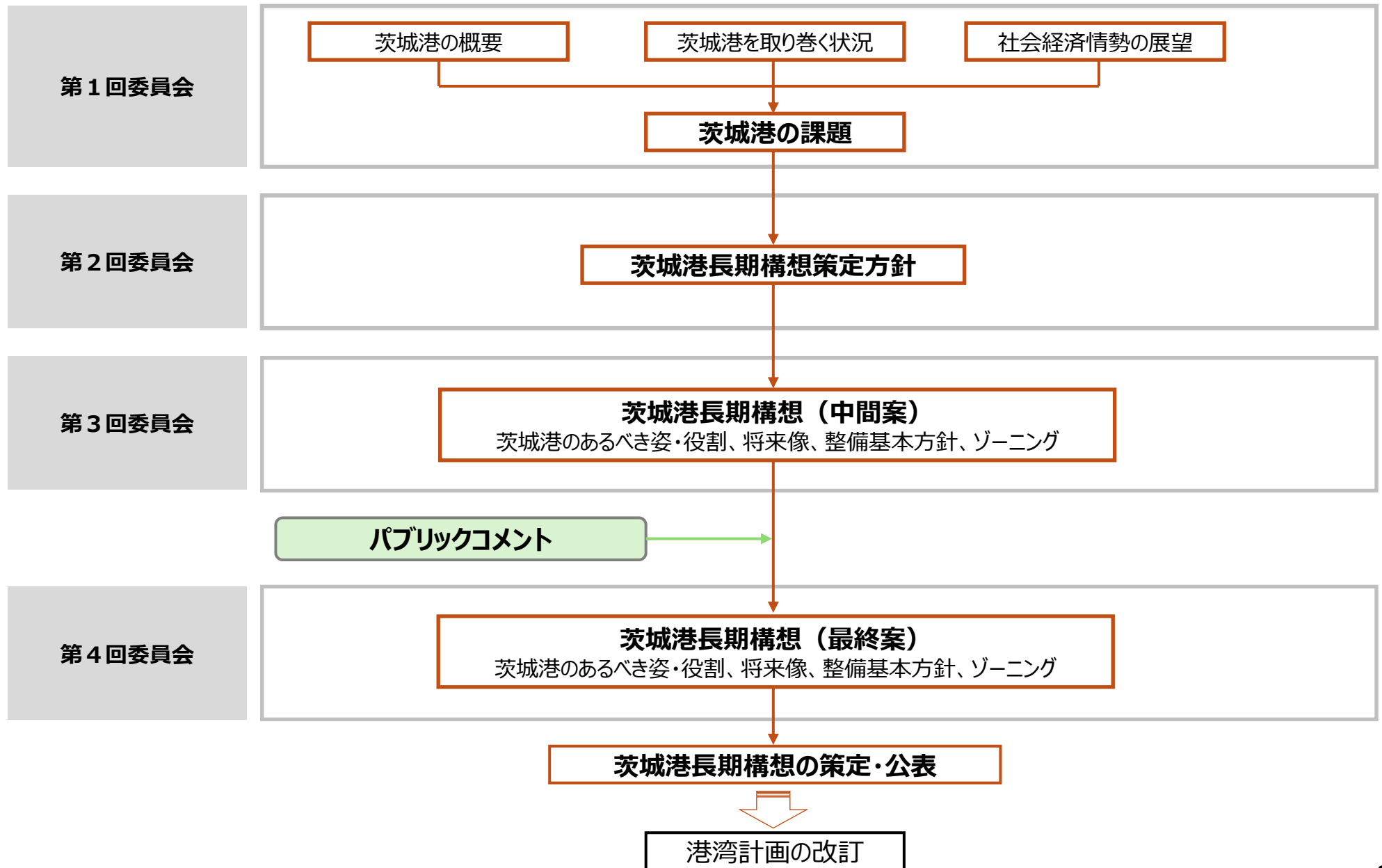
- 茨城港の現港湾計画（平成21年3月改訂）は、「茨城県港湾戦略ビジョン～首都圏NEWゲートウェイを目指して～（平成19年12月）」、「茨城県北3港港湾計画策定検討委員会（平成21年2月）」を受け、**従来の日立港、常陸那珂港、大洗港の3港が統合港湾として一体となり**、首都圏の経済活動、とりわけ北関東地域の経済・交流活動を支援すると同時に、東京湾岸地域の港湾物流機能等補完するため、また、経済活動と豊かな自然環境が調和し、3港が一体となった魅力ある「みなとまち」を形成するため、**平成30年代前半を目標年次として計画**されたものである。
- 平成21年3月の港湾計画改訂以降、港湾や道路などの輸送ネットワークの整備が進み、新たな民間投資や企業の生産拡大が進んだ一方、新型コロナウイルス感染症の拡大やロシア・ウクライナ問題などにより、サプライチェーン分断など大きな打撃を受けている。
- また、世界の産業構造は、2050年カーボンニュートラルの実現、A I・I o Tなどを含むD Xの推進、働き方改革に伴う時間外労働の上限規制に起因したモダルシフトの動きが進展しつつあり、**港湾を取り巻く情勢が変化**してきている。
- このような状況変化等を踏まえ、**茨城港において、概ね10～15年後を目標年次とする港湾計画を改訂する予定**であり、その改訂を念頭に、**概ね20～30年後を見据えた茨城港の将来像の議論・検討を行い、新たな長期構想を策定**するものである。

○委員会の目的

- 茨城港に対する諸要請と、今後茨城港が果たすべき役割などを踏まえ、長期的視点にたった茨城港の将来像やその実現に向けた取組の方向性を検討し、茨城港の長期構想を策定する。



2. 茨城港長期構想策定の進め方



3. 長期構想の方向性

茨城県総合計画 ～「新しい茨城」への挑戦～

(基本理念) 活力があり、県民が日本一幸せな県

県政方針

【茨城のグランドデザイン（2050年頃）】

(1) 茨城の将来像 <力強い“産業”> <夢・希望にあふれる“人”> <豊かな“暮らし”>

(2) 県土を支える社会資本

- 道路・鉄道・公共交通機関（◆広域交流と地域間連携を支えるネットワークの構築 ◆三大都市圏等とのアクセス向上と、県内への波及）
- 港湾・空港（◆産業を支え国内外と夢をつなぐ首都圏のニューゲートウェイ）
- 暮らしを支える社会資本（◆県民の命と財産を守る社会資本の整備・長寿命化）

茨城港の課題

物流・産業

課題①

- コンテナ貨物取扱機能の効率化・拡充に向けた取組

課題②

- RORO貨物取扱機能の効率化・拡充に向けた取組

課題③

- 産業用地の確保・拡充に向けた取組

環境・エネルギー

課題④

- 温室効果ガス削減に向けたカーボンニュートラルポートへの取組

人流・賑わい

課題⑤

- クルーズ船受入環境とインバウンドの促進

課題⑥

- 観光客の利便性向上

安全・安心

課題⑦

- 港湾施設の老朽化対策

課題⑧

- 自然災害等への対応

産業を支え国内外と夢をつなぐ首都圏のニューゲートウェイ “茨城港”

各港区の特性を活かし、多様な要請を受け入れ、更なる発展を目指す。

方向性 1

茨城・北関東地域の経済をけん引し、首都圏の物流機能等を補完する港

方向性 2

環境保全に貢献する港

方向性 3

賑わいと活気にあふれる港

方向性 4

災害対応力の高い強靱な港

基本理念
長期構想の

（目指す姿）
長期構想策定方針

4. 茨城港における主な取組内容

目指す姿	取組方針	主な取組内容	日立	常陸 那珂	大洗
(1) 物流・産業 茨城・北関東地域の 経済をけん引し、 首都圏の物流機能等 を補完する港	首都圏のゲートウェイ として物流や産業の 発展を支える 海上輸送拠点の形成	① 定期コンテナ航路等の拡充		○	
		② 新たな施設整備促進及び産業用地の確保	○	○	○
		③ モーダルシフトの進展に対応したフェリー・RORO輸送能力の強化	○	○	○
		④ 情報通信技術を活用した港湾のスマート化	○	○	○
		⑤ ヒトを支援するA Iターミナルの形成		○	
		⑥ 背後地との道路ネットワークの強化	○	○	
(2) 環境・エネルギー 環境保全に貢献する港	背後地域の脱炭素化 を支援する カーボンニュートラル ポートの形成	① 次世代エネルギーの供給（輸送・貯蔵等）拠点整備の検討	○	○	
		② 物流・人流ターミナル、港湾地域に立地する企業活動の脱炭素化	○	○	○
		③ 脱炭素化推進地区制度の活用等を見据えた土地利用	○	○	○
		④ 港湾脱炭素化促進事業の推進	○	○	○
		⑤ 港湾の脱炭素化に関する将来構想	○	○	○
(3) 人流・賑わい 賑わいと活気に あふれる港	背後地域の観光振興 を支える交流・賑わい 拠点の形成	① クルーズ船の受入環境整備		○	○
		② 背後観光スポットとの連携によるクルーズ船誘致		○	○
		③ みなとを中心とした交流拠点の創出	○	○	○
(4) 安全・安心 災害対応力の高い 強靱な港	災害対応力の向上に よる安全かつ安定した 港の形成	① 戦略的なインフラマネジメントの推進	○	○	○
		② 気候変動等を考慮した臨海部の強靱化	○	○	○
		③ 長周期波及びうねり対策	○		
		④ 東京湾被災時の茨城港の貢献	○	○	○

※主な取組内容に該当する港区に○を記載

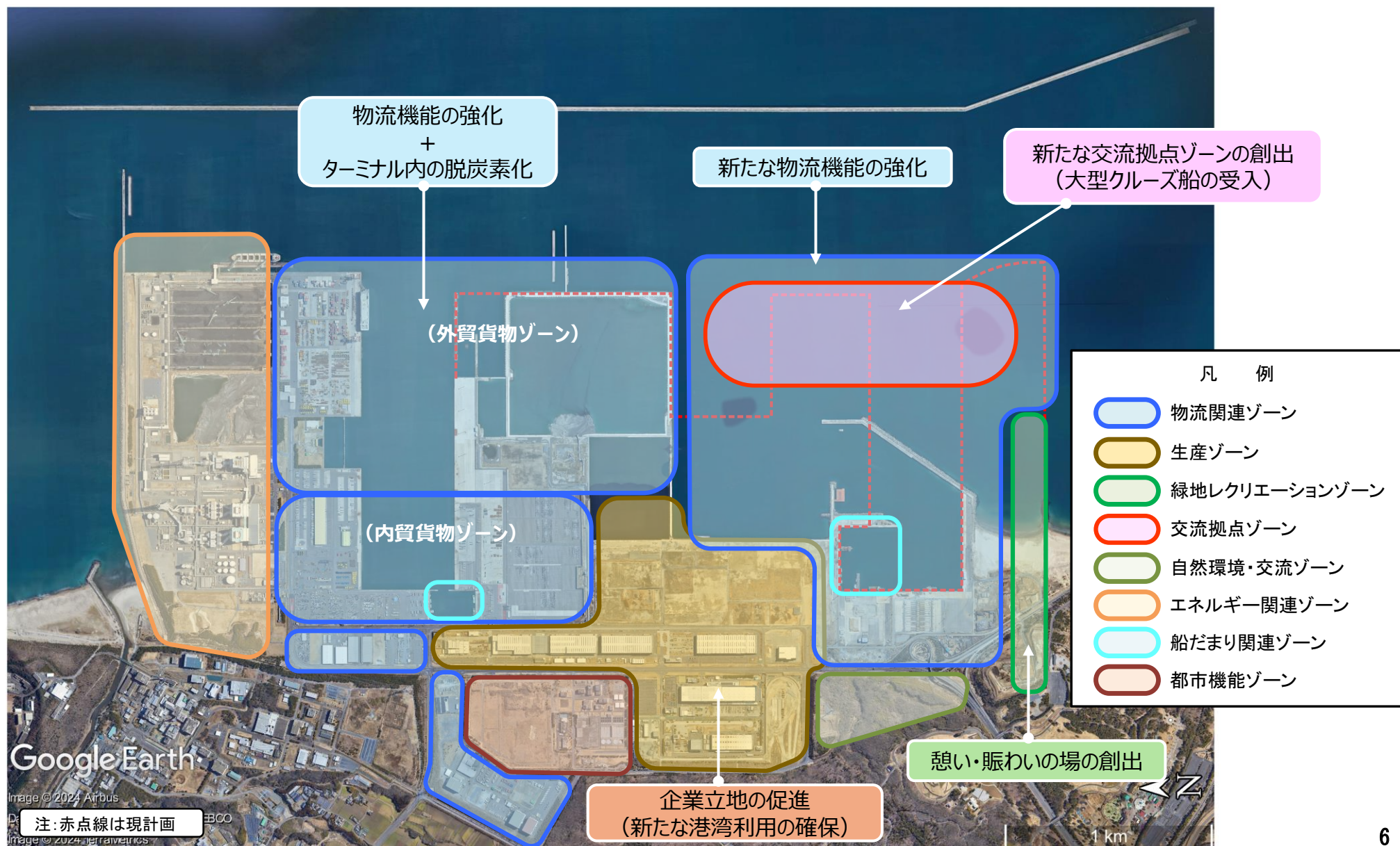
5. 空間利用ゾーニング

(1) 日立港区



5. 空間利用ゾーニング

(2) 常陸那珂港区



5. 空間利用ゾーニング

(3) 大洗港区



6. ロードマップ

機能	取組方針	主な取組内容	対応地区			目標時期	
			日立	常陸那珂	大洗	短・中期 (～2030年代後半)	長期 (～2050年代前半)
物流・産業	首都圏のゲートウェイとして物流や産業の発展を支える海上輸送拠点の形成	①定期コンテナ航路等の拡充		○			
		②新たな施設整備促進及び産業用地の確保	○	○	○		
		③モーダルシフトの進展に対応したフェリー・RORO輸送能力の強化	○	○	○	技術検討	
		④情報通信技術を活用した港湾のスマート化	○	○	○	技術検討	
		⑤ヒトを支援するA Iターミナルの形成		○		技術検討	
		⑥背後地との道路ネットワークの強化	○	○			
環境・エネルギー	背後地域の脱炭素を支援するカーボンニュートラルポートの形成	①次世代エネルギーの供給(輸送・貯蔵等)拠点化	○	○		規模及び配置検討	
		②物流・人流ターミナル、港湾地域に立地する企業活動の脱炭素化	○	○	○		
		③脱炭素化推進地区制度の活用等を見据えた土地利用	○	○	○	規模及び配置検討	
		④港湾脱炭素化促進事業の推進	○	○	○		
		⑤港湾の脱炭素化に関する将来構想	○	○	○	実現に向けた検討	

6. ロードマップ

機能	取組方針	主な取組内容	対応地区			目標時期	
			日立	常陸 那珂	大洗	短・中期 (～2030年代後半)	長期 (～2050年代前半)
人流・賑わい	背後地域の観光振興を支える交流・賑わい拠点の形成	①クルーズ船の受入環境整備		○	○		
		②背後観光スポットとの連携によるクルーズ船誘致		○	○		
		③みなとを中心とした交流拠点の創出	○	○	○	事業検討	
安全・安心	災害対応力の向上による安全かつ安定した港の形成	①戦略的なインフラマネジメントの推進	○	○	○		
		②気候変動等を考慮した臨海部の強靱化	○	○	○	対応検討	
		③長周期波及びうねり対策	○				
		④東京湾被災時の茨城港の貢献	○	○	○		